



勝田道雄 議員

## インター及び大和駅周辺の開発について

**問** 財源と雇用の確保ができる桜川筑西インターチェンジから大和駅を含めた地域を、地権者の理解の上、どのように活用していくのか。

**答** 市長 大和駅北側区域の利活用。また、工業専用区域を準工業区域、農振地域を撤廃していく方向で、今行政として動いています。

**答** 市長公室長 プロロードバンドの整備など、企業が立地しやすい環境整備を行いながら、企業誘致を進めていきます。

**まとめ**…地方の自立が求められるこの時代、従来のような国・県に頼るばかりではなく、桜川市の未来づくりのため、市独自の戦略を立て、企業誘致を含めた新たな財源確保と最小



4/12 開通 桜川筑西インターチェンジ

限の投資で、最大限の効果が得られるまちづくりを進めていくことが、早急の課題ではないかと思えます。

### まほろば公園の活用方法は

**問** 未知の可能性を秘めているまほろば公園を、どのような方法で利活用していくのか。

**答** 市長 NPO法人によるマウンテンバイクのコース整備が提案され、現在NPO法人と協議をしています。

**まとめ**…まほろば公園の十三ヘクタールの中で、どのくらいの面積をどのように整備するのかわかりませんが、最初に取り組む事業によっては、その後の整備に影響することもあると考えられますから、基本的には何の根拠かを描き、全体計画をして、その中での取り組みを行うことが肝要と思えます。十二分に検討し、後世に悔いが残らないような活用をお願いします。



相田一良 議員

## 結婚問題、いばらき出会いサポートへの参加は

**問** 結婚適齢期の男女の出会いの場が少ないという空気を読みとり、県では「素敵な予感、さあ、あなたも新しい出会い」をスローガンに、結婚を希望する男女に対し、いばらき出会いサポートセンターが組織され成果が上がっている。当市でも希望者に対し参加を推奨してはどうか。

**答** 市長公室長 ホームページや広報紙等で積極的にPRし、自身



出会いパーティ

の方々、いばらき出会いサポートセンターが行うパーティー等への参加がスムーズにできるよう検討を続けてまいります。

### 女性の消防団員の育成

**問** 男子の消防団員が減少する一方、女性の消防団員数は年々増加の傾向にあり、県の消防本部では、今後三年以内に県内の全市町村に女性消防団員の組織づくりを進めると述べている。ぜひ、当市でも育成していただきたい。

**答** 市長 女性消防団の結成に向けて鋭意、積極的に取り組んでまいります。

**答** 総務部長 女性消防団員は防火防災思想の普及、啓発等を主に、広報活動や後方支援を行います。当市でも、桜川消防団と指導体制や役割分担について協議を行い、早期結成に向けて推進してまいります。



古川静子 議員

## AEDの設置について

**問** 平成二十年度予算で、岩瀬・大和・真壁の体育館の三カ所にAED(自動体外式除細動器)が設置されると聞いたが、これでは少なすぎる。AEDは一台いくらのものか、また、AEDの導入とともに講習会も必要と思われるが。

**答** 市長 AEDは一台約三〇万円かかります。また、スポーツ団体関係者や職員にAED操作の講習会を実施します。今後は中学校、小学校、幼稚園にも配置するよう計画しています。

### 公共施設の節水対策について

**問** 桜川市は財政的に大変厳しく、公共施設の経費も削減する必要があるが。

**答** 総務部長 公共施設の水道使用料については、平成二十四年度までに平成十八年度実績の五%削減を目標に掲げています。節水コマの設置も前向きに検討していきたいと考えています。

**問** 行財政改革は市の最重要課題、これにどう取り組むのか。市長の基本姿勢を問う。

**答** 市長 行政改革は、最小限の経費で最大のサービスを市民に提供すること考え、現在推進中です。職員はさらに削減して四〇〇人体制とし、意識改革、資質向上を目指します。

### 農業の振興について

**問** 厳しい状況下にある農業を守り育てていくためには、市独自の強い施策が求められている。担い手の確保や、安心安全な農産物の生産、土地改良の推進について問う。

**答** 経済部長 大型農家、認定農家にも目を向け、担い手の確保、育成にも力を注ぎます。また、有機栽培農業を定着させ、循環型農業の確立と、安心安全な桜川ブランド農産物の生産を図ります。

あわせて、ほ場整備は最優先課題であり、一日も早く未整備、再整備を含め努力いたします。



ほ場整備の様子



潮田新正 議員

## 市長の政治姿勢について



節水しましょう

多岐にわたって質問しました

構成は臨時号に載っています

全37議案を審議しました

質問者本人が要約しています

閉会中も審議しました

大綱質疑

委員会報告

議案審議

一般質問

閉会中の審議



増田 豊 議員

### 地方財政健全基準とは

**問** 自治体財政健全化法案に基づく地方財政健全基準とはどんな内容なのか。桜川市予算は指標を念頭に組んだのか。今後、予算編成上どこに留意していくのか。

**答** 総務部長 ①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率(一部事務組合・広域連合まで含む)④将来負担比率の四指標(※)です。桜川市における予算編成は、急激な実質公債費比率の上昇を招かないよう、指標を念頭に臨みました。実質公債費比率のイエローカードは二五%、レッドカードは三五%が基準です。桜川市の平成十八年度決算統計に基づく試算では、実質公債費比率は一四・八%です。また、当面の留意指標は実質公債費比率です。

※実質赤字比率…実質収支比率(標準財政規模に対する実質収支額の割合)の赤字比率のこと。また、実質収支比率が一定の基準を超えると地方債発行が制限され、公共施設等の財源にすることができなくなります。  
※連結実質赤字比率…年度の全収入に占める全会計の赤字総額の割合です。  
※実質公債費比率…公債費(借金)による財政負担の程度を示すもの。この比率が一八%以上の団体は、地方債の発行に国の許可が必要です。  
※将来負担比率…一般会計等が将来負担すべき負債(借金)の標準財政規模に対する比率のことです。

### 国政選挙の投票時間について

**問** さきの参議院選挙で、締め切り時間以降に投票所に来た方を見かけたが、他の投票所ではどうか。また、

た、投票時間の広報は十分だったか。  
**答** 総務部長 投票時間については、選挙管理委員会に対して苦情や要望などはありませんでした。今後、十分に広報を行います。  
●まとめ…合併特例債事業は財政状況を考えていることと思うが、全国的注目を受けている公民館建てかえは、将来を見据えた建物を望む。

大綱質疑

委員会報告

議案審議

一般質問

閉会中の審議



菊池節子 議員

### 後期高齢者医療制度の見直しと減免制度を

**問** 七十五歳以上の高齢者だけを別建てにした医療制度には無理がある。年間七万円の保険料(平均)の天引きや保険証の取り上げなどが心配される。県に見直しを求めるとともに、市独自の減免制度をつくってほしい。

**答** 市長 国の医療制度改革の中で創設された制度です。減免制度は、国や広域連合の軽減制度の中で実施していきたい。

### 不要入れ歯回収ボックスの設置を

**問** 入れ歯には貴重な金属が含まれることと資源として生まれ変わることができ、県内では五霞町役場にある。桜川市でも設置してほしい。

**答** 市長 日本入れ歯リサイクル協会から協力依頼があったとき



五霞町役場に設置されている不要入れ歯回収箱

**答** 経済部長 議員の指摘は重要であると考えています。案内方法、設置場所については今後検討します。

には、設置場所を考慮していきます。  
**御嶽山登山道の入り口案内板について**

**問** 『関東ふれあいの道』という本に「御嶽山の入り口がわかりにくい」と書かれている。ここは絶好のハイキングコースである。ぜひ、りんりんロードへサイクリングに来る人にも分かるような案内板をつけてほしい。

は、設置場所を考慮していきます。



仙波信綱 議員

### サンパルの管理運営について

**問** 現在、温水プール「サンパル」の管理運営はどのような状況か。また、市民やサークルの利用状況と収支のバランスはとれているのか。指定管理者制度を導入する考えはあるのか。

**答** 市長 施設開設時は民間に委託しましたが、平成十年二月から



温水プール「サンパル」での水泳教室

町が管理運営しています。厳しい財政状況を考慮しながら、指定管理者制度も視野に入れ、施設管理体制の充実に努めてまいります。

**答** 教育長 十八年度の利用状況は、一般・小中学生など年間三万四一九八人で、歳入は六〇二万円、歳出は二九二六万円となっております。おむね同数値で推移しています。サークルでは、スイミングスクール桜川が昼と夕の休憩時間を含めて利用しています。

**問** 時間帯によっては、スイミングスクール桜川が独占的に使用し、市民が利用できない。榊穂小ではプールが老朽化し、サンパルで水泳の授業を行ったと聞く。このあたりも考慮し、公平な使い方を指導すべきでは。

**答** 市長 各学校のプールは老朽化しています。サンパルも利用しながら、公平な運営を大切に精査してまいります。



川那子秀雄 議員

### 大曾根本木線新設事業の進捗状況は

**問** 予算の報告の中で市長は、事業の「必要性、緊急性、その効果」が非常に大事であると述べているが、大曾根本木線新設事業は特別債事業であるが、その効果は余り期待できないのではないのか。財政状況から見て立ちどまって考えることも必要だ。進捗状況は。

**答** 建設部長 既に六五九一万円を支出しており、二十年度は四七五〇万円を予算化、測量や不動産、建物補償等五項目を実施する予定、秋ごろには、すべての地権者に買収同意に入る予定です。

### ごみの有料化について

**問** ごみの減量化対策について、「事業系、一般ごみ対策に地域差がある」。環境センターの分賦金等もあり、有料化も考えてみては。

**答** 市長 ごみ有料化の検討については、さまざまな施策を展開しても、財政を圧迫する事態を生じる

場合は、有料化も検討しなければならぬ。

**答** 市民生活部長 減量化を図り分賦金の減額に努め、財政負担を軽減できるよう努めたい。

### 不妊治療費の補助制度を

**問** 少子化対策として不妊治療費の補助をお願いしたい。

**答** 市長 県内の四市一町において県の助成(※)に上乗せして補助を行っています。二十年度中に少子化対策の一つとして補助制度を創設したい。

### 茨城県不妊治療費助成事業

不妊治療を受けた方に治療費の一部を助成します。  
○対象となる治療：体外受精、顕微授精  
○助成内容：一回の治療につき一〇万円を限度に、一年当たり二回まで、通算五年間助成します。  
○対象者：次のすべての要件に該当している方  
①法律上の婚姻をしている夫婦で、夫または妻のいずれか一方が県内に住所を有すること。  
②夫及び妻の前年(一月から五月までの申請については前々年)の所得の合計が七三〇万円未満。  
③茨城県が指定する医療機関において実施した治療であること。  
※詳しいことは、保健所にお問い合わせください。



多岐にわたって質問しました

構成は臨時号に載っています

全37議案を審議しました

質問者本人が要約しています

閉会中も審議しました